



有為の人

〇決(きめる) 〇挑(いどむ) 〇創(つくる)

2023年(令和5年)4月18日
福山市立幸千中学校

新しい仲間と共に **歓迎!!** 217名入学



生徒会長挨拶
入学式全体の様子



新入生教室の様子
新入生誓いの言葉

□4月7日、入学式を挙行了いたしました。新しい仲間を迎え、気持ちも新たに幸千中学校がスタートしました。

生徒会長は「幸千中学校には色々な検定やボランティアなど挑戦する場がたくさんあります」と紹介をしました。そして、「私たちと共に、『有為の人』を実現していきましょう」と呼びかけました。

新入生挨拶も、落ち着いて堂々とした素晴らしい姿でした。

校長は、「自分で決める」ことを意識して、実行し、成功体験を通して、自信をつけるようにと話をしました。

生徒が動き始めました

年間リーダーが活躍します



昨年度から始めた新しい地域貢献活動として、生徒が創る地域ボランティア活動があります。

今年度は、それを充実させるために、**年間リーダー**という組織を立ち上げました。リーダーの最初の

仕事は、**体育祭の成功**です。その後、校内、地域の調査をして、生徒が企画・運営するボランティア活動を行います。

各学年から**多くのリーダー**が立候補しました。

連絡 お願い 連絡

スクールカウンセラーが配置されました。

昨年度に続き、**榎谷亜由子先生**が**火曜日**に来校されます。予約をいただいてカウンセリングします。

担任、山田(生徒指導主事)、教頭へご連絡ください。

体罰・セクハラ・いじめ相談窓口

- 幸千中学校担当
友野(教頭) 山田(生徒指導主事)
藤本(養護教諭) (084)955-0121
- 広島県教育委員会
(082) 513-4917, (082) 513-4985
◆ (082) 513-4918, (082) 513-4919
(◆: 女性担当者対応窓口)
- 福山市教育委員会
学事課職員担当 (084) 928-1112
学びづくり課
授業企画担当 (084) 928-1275
授業実践担当 (084) 928-1183

職員紹介

職名	名前	籍	担任等	部活動
校長	村上 啓二	数		
教頭	友野 禎之	英		
教諭	折林 哲榮	国	3 学年主任,36R 担任	ソフトテニス男
	植田 佳織	国	25R 担任	生徒会
	小川 大翔	国	16R 担任	野球
	九十九一成	社	15R 担任	卓球
	村上 友一	社	24R 担任,司書教諭, 道徳教育推進教員	バレーボール
	小泉 淳子	社	33R 担任	文芸
	住谷 勇紀	社	教務主任,1年副担任, 小中一貫教育推進教員, 「学びの変革」推進担当	ボランティア
	原田 佳奈	数	34R 担任	バスケットボール女
	山下 宗憲	数	進路指導主事, 21R 担任	科学技術
	末本 篤典	数	31R 担任	陸上
	湯谷 恒大	数	1年副担任	吹奏楽
	大塚 雅泰	理	32R 担任	ソフトテニス女
	北村 友哉	理	研究主任	バスケットボール男
	河野 圭佑	理	13R 担任, 情報担当	野球
	芝 佑佳	音	22R 担任	吹奏楽
	青木 舞子	美	2年副担任	美術
	岩室 敬大	隣	23R 担任	サッカー
	山田 耕己	隣	生徒指導主事, 生徒会 中体連理事, 1年副担任	生徒会
	山本 純平	隣	35R 担任, 体力向上担当教員	ボランティア 生徒会
	碓 愛加	隣	14R 担任	サッカー
	中島 一敏	技	1 学年主任,11R 担任	バレーボール
	豊田 千夏	家	3 年副担任	家庭科
	池上 彰	英	3 年副担任	ソフトテニス男
	田口 真美	英	12R 担任	卓球
	松村 陽子	英	2 学年主任, 2年副担任 unesco school 担当	卓球
	鶴鶴 直哉	英	1 年副担任	バスケットボール女
	和田 智行	灘	特別支援コーディネータ	陸上
	右下美香子	隣	7-1R 担任	卓球
藤井 道宏	隣	7-2R 担任	ボランティア	
金尾なおみ	隣	8-1R 担任	ソフトテニス女	
野村 喜彦	隣	8-2R 担任	バスケットボール男	
有永 祐里	隣			
近藤 華	英			
非常勤講師	脇 祥貴	隣	特支複数指導	
非常勤講師	清水 昭	理		
非常勤講師	瀬良 寧々	国		
非常勤講師	友瀧 美枝			
養護教諭	藤本英里子			
事務主幹	神原 誠			
主事	前田 陽子			
キャリアポート スタッフ	栗田 純子			
校務員	古谷 美樹			
校務員	河原美穂子			
介助員	山口 由美			
介助員	林 奈津子			
介助員	三宅 明美			
学校支援員	石原 麻美			
SC	梶谷亜由子			
図書館補助員	藤井 貴子			
拠点校指導教員	馬屋原 忍			

アンネのばらが育っています

アンネのばらの苗を植え替えました。



新聞記事

アンネのバラ広めたい ホロコースト記念館 幸千中生が接ぎ木

ナチス・ドイツによるユダヤ人迫害の犠牲になった少女アンネ・フランク（1920～45年）と関係が深い「アンネのバラ」を広める活動に取り組むホロコースト記念館（福山市中津原）は14日、バラの接ぎ木会を開いた。近くの福山市立幸手中の1,2年生ら11人が平和への思いを込めて取り組んだ。

生徒は同校に「アンネのバラ」の花壇を作るため参加した。台木となる野バラの根の断面にナイフで切り込みを入れ、長さ5cmほどのアンネのバラの枝を差し込み、テープで固定。福山ばら会のメンバーの指導を受け、約2時間半で100本を接ぎ木した。

バラ約30本は同校に持ち帰り生徒が育てる。ほかの接ぎ木は苗にして同館から全国に贈られる。2年山元聡真さん（14）は「木が堅くて切るのが大変だった。責任を持って育て、きれいな花を咲かせたい」と話した。

アンネのバラは例年5,10月ごろ開花。咲き始めの黄色からピンク、赤色へと変化する。ベルギーの園芸家が名付け、アンネの父オットー・フランクさんが日本に寄贈して全国に広がった。同館では95年の開館時から育てている。

山陽新聞 2023年（令和5年）1月17日掲載
※山陽新聞社提供



アンネのバラの接ぎ木に取り組む生徒
ホロコースト記念館でボランティアグループ Small Hands と共に
2023.1.14